

経営比較分析表（平成30年度決算）

青森県 佐井村

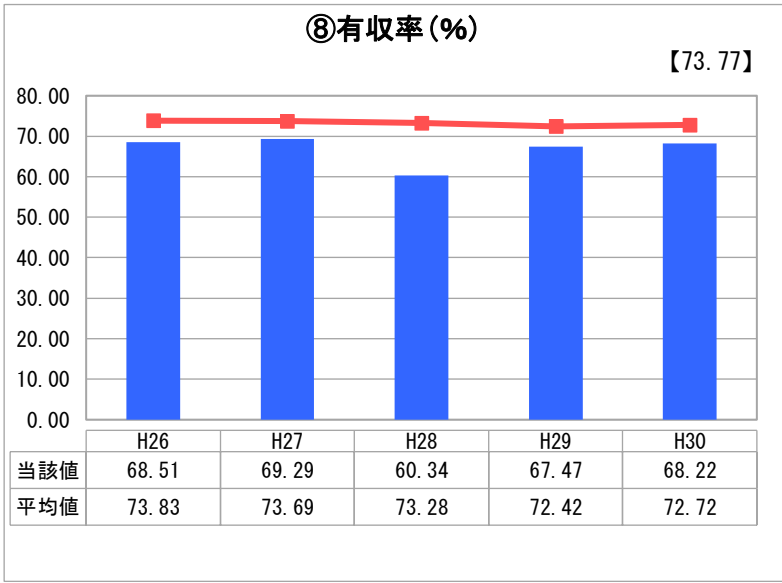
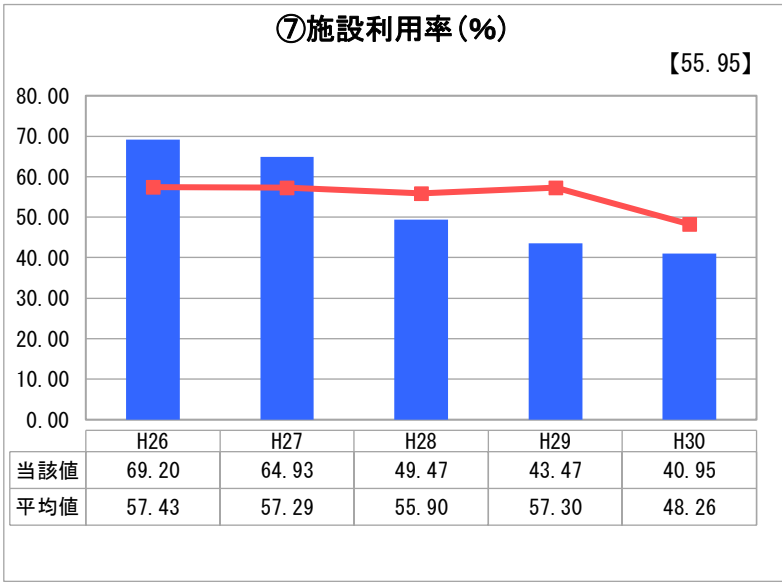
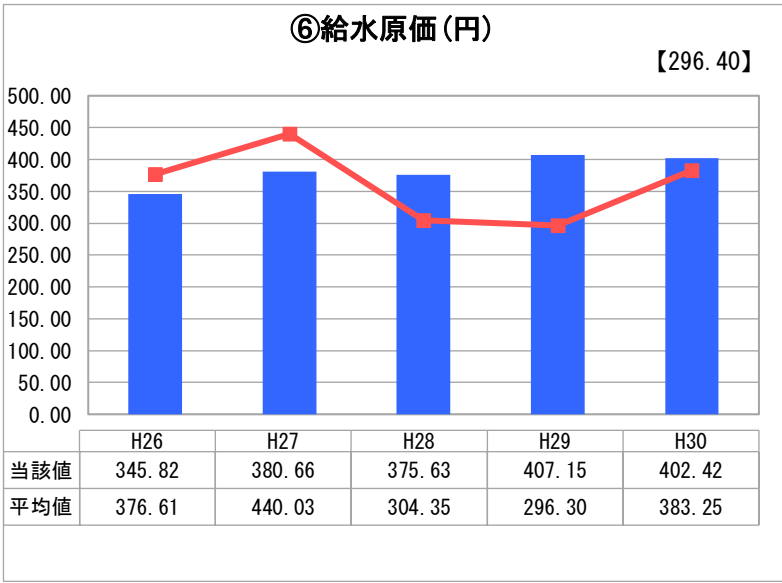
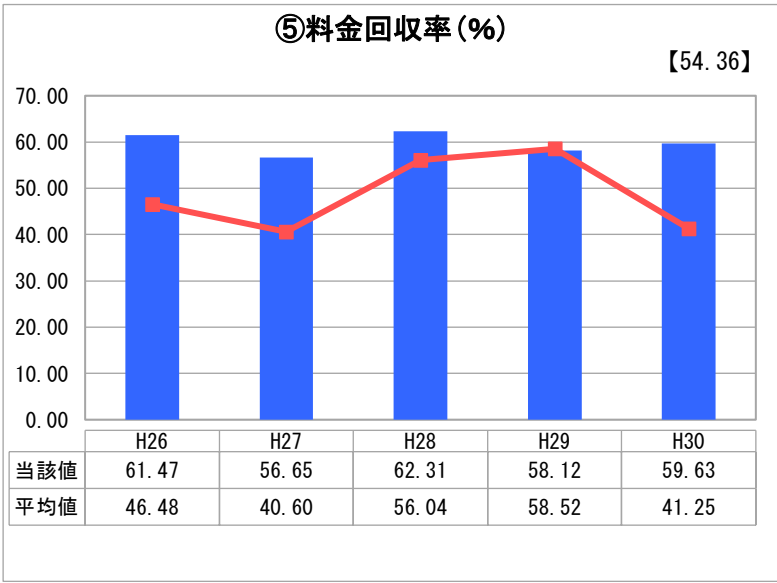
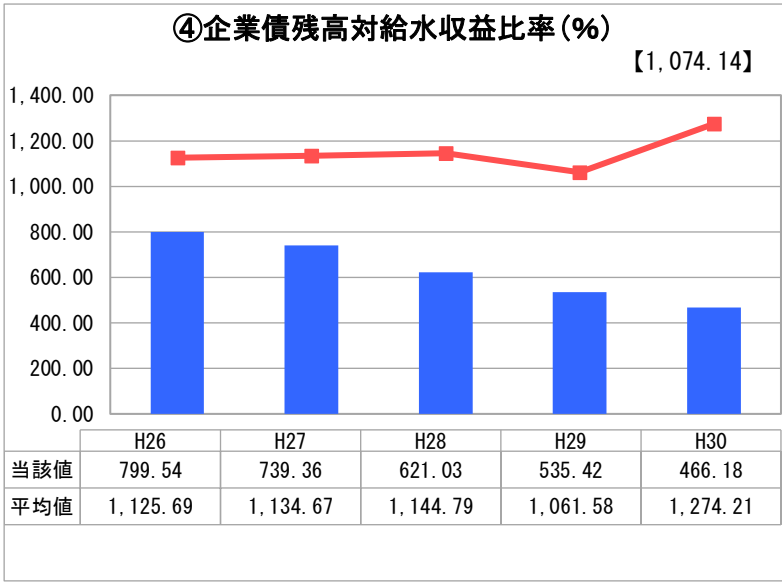
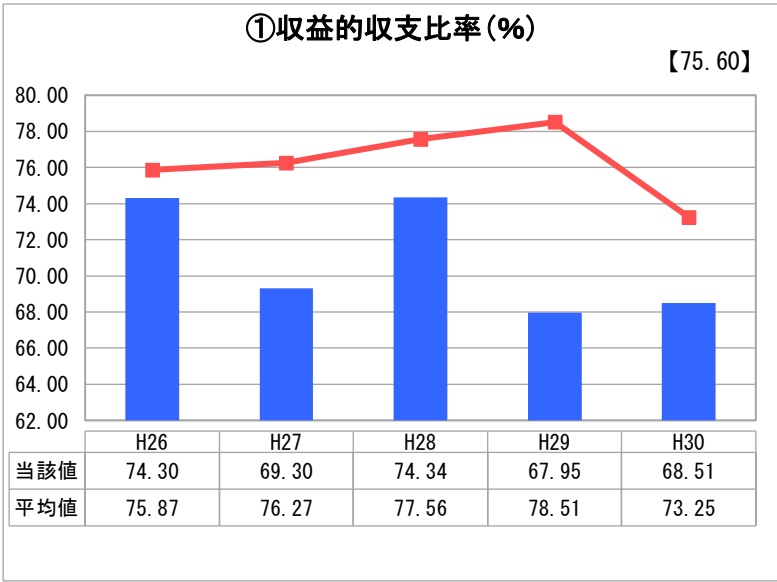
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.50	3,880	

人口（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
2,042	135.04	15.12
現在給水人口（人）	給水区域面積（km ² ）	給水人口密度（人/km ² ）
1,995	57.10	34.94

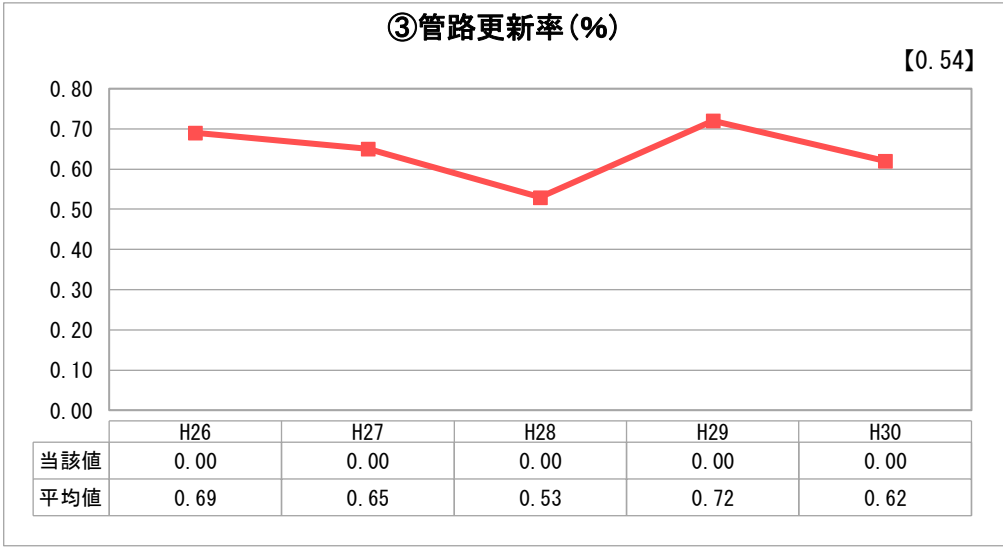
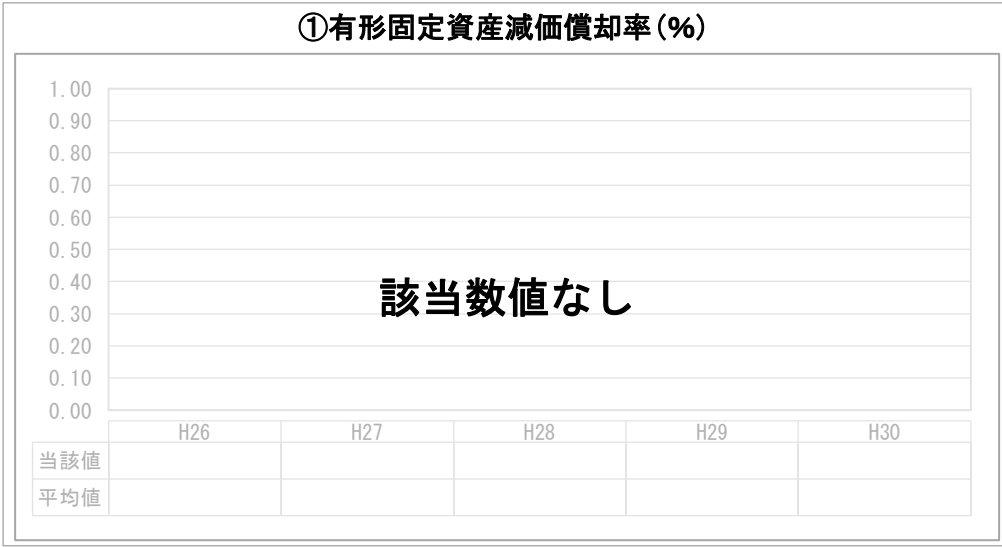
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

収益において、維持管理費の全てと公債費の一部を賄っているが他会計からの繰入金により収支均衡が図られており黒字化には至っていない。
今後は給水人口減少に伴い、更なる使用料収入の減少が見込まれるため定期的な料金の見直しを行い収益の向上を図る。
また、維持管理費の節減、計画的な施設更新（長寿命化）に努め健全化・低コスト・効率性の高い企業経営をする必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路については、平成8年度までに更新を行っているが、耐震管と認められていない管渠であることから耐震管への更新が必要となる。
昭和50年代後半に整備した施設は、随時修繕を行い維持管理に努めているが、人口規模を勘案しダウンサイジングを含めた長寿命化計画を策定し必要最小限の改修を行う。

全体総括

等事業は維持管理経費に対して収益のみでの経営は可能であるが、公債費に対しては他会計繰入金を活用しているのが現状である。
経営状況に見合った料金設定の検討に努め、段階的な料金改定による収益の確保と維持管理費の節減に努める。
また、施設の老朽化等については長寿命化を念頭において改修計画を策定し適切な設備更新に努める。